

2024 年、日本の EPA 交渉の予測の採点と 2025 年の予想

2022 年から予測と採点を掲載している。予測と結果として整理して 2025 年に臨みたい

(2022 年の予測)

2022 年、日本の EPA 交渉はどうなるか？

思えば、2021 年の年明けには世界のだれもが、新型コロナは中国の一部での病気としか思っていなかった。

それから 2 年。それでも EPA は着実の動き、日英 EPA の締結発効、RCEP の署名と発効の確定と進んだ。

2022 年はどうなるのか？予測してみる。

まず CPTPP である。いまだ批准していないチリ、マレーシア、ブルネイの動向である。

チリについては、2019 年中に議会の承認がされる見込みであったが、土壇場で無期延期状態になっている。

2022 年 3 月の大統領選挙で左派の候補が当選した場合、公約に新たな FTA はしないとしていることからこのまま加盟しないという予測もされている。

もっともペルーが、左派の大統領の就任直前に批准したようにかえって、左派の当選の場合に直前に批准もありかと思うがどうであろうか？

マレーシアは、2021 年中に RCEP を批准しそうで併せて CPTPP も批准しそうである。その場合ブルネイも追随しそうである。

交渉中の EPA は、どうなるか？

日中韓 FTA は、2021 年 11 月に交渉会合を開催して以来、動きがないが「RCEP 交渉の進展の現状を確認し、いかなる付加価値を付与することができるかを議論」と日本の外務省は説明しており水面下で交渉が進展し RCEP 発効後妥結発表という可能性もある。

同じく 2021 年 10 月から進展のない日トルコ EPA は、動向が不明である。

公式に交渉中断となっている GCC との FTA であるが、最近 GCC が EU、イギリスとの交渉を再開している。

日本も交渉再開してしかるべきかと思うが情報は乏しい。

こうみると 2022 年に確実に行われるの、CPTPP 拡大交渉のうちイギリスとの交渉のみであり、ほぼ確実なものは、CPTPP 拡大交渉のうち中国、台湾との交渉、かなり可能性があるのは CPTPP 拡大交渉のうち韓国、タイとの交渉であり、交渉中のもので何らかの進展の可能性があるのは日中韓 FTA となりそうである。

(2022 年の結果)

結局、チリの大統領就任直前の批准はなかったが、10 月にチリの議会を通過。投資家と国との間の紛争解決 (ISDS) メカニズムについてのチリが推進するサイドレターへの他の

参加国の承認が得られた後に批准することであったが2022年12月23日に批准され、2023年2月21日に発効する。

マレーシアは、2021年中にCPTPPを批准したが、ブルイネは動きがない。国内的に問題の要素はなさそうであるが、何故か動かない。

新規加盟についてはイギリスの加盟交渉は2022年中にまとまりそうであるが、申請の扱いがまだ処理されていない中国と台湾はどうなるのか？加盟申請が何回も先延ばしになっているタイと韓国はどうするか？いずれにせよ、日本のCPTPP議長国は2021年末で終わり、2022年はシンガポールとなる。新規加盟の扱いについて日本が主導権をとる期間は終了する。市場開放水準の切り下げを認めず、加入後の協定順守を求めるのは当然であるが、交渉開始時の条件とはできないであろう。

そうなると2022年の第1回CPTPP委員会で交渉開始が承認となるのがもっともありそうである。その場合、加入WPは、形式的には国別になるとしても実質的に合同で開催し、個別の条件交渉にならないようにできれば日本としては好ましいだろう。

イギリスの加盟交渉は2022年中にまとまらなかった。個別品目の関税交渉の難航のようである。

新規加盟は、更にエクアドル、コスタリカ、ウルグアイが申請したが、中国、台湾を含めその扱いについては進展がない。また申請直前までの動きがあった韓国は、政権交代後動きが止まっている。またタイも動きがない。

結果として2022年中の妥結は何もなく予測はすべてはずれということになる。一方で、日本・イスラエル、日本・バングラデッシュが共同研究開始になるのは予想外の進展であった。

(2023年の結果)

2023年は、新しくするまでもなく、2022年の継続の予想はあたり。香港のRCEP加入は動きがなく、日GCCの交渉再開くらい。

(2024年の予想)

2024年は、日本・バングラデッシュは交渉開始となるが、日本・イスラエルは政治的に微妙。CPTPPへのイギリス加盟は発効するが、他はまたたなざらし。

(2024年の結果)

ほぼ予想通り。香港のRCEP加入は動きがなく、日GCCの交渉再開くらい。日UAEPAとコスタリカのCPTPP加盟交渉開始が新規。

(2025年の予想)

自由貿易に逆風だらけで、対して動きそうもない。中国がらみは全部ストップの模様。日メルコスールでも交渉開始になれば面白いが多分無理。日本・バングラデッシュがどこまで進むか？

(2025年の結果)

自由貿易に逆風だらけで、対して動きそうもないというのは全体として。当たり前すぎて正解。・バングラデッシュがどこまで進むか？は原則合意まで達成。CPTPP 加入は中国、台湾を飛ばして南米が進展。RCEP 関係も動かない

(2026 年の予想)

日本・バングラデッシュは正式署名までは確実。2026 年中に発効するかは微妙。

日 UAE、日 GCC はどこまで進むか？

CPTPP 拡大は新規交渉開始がどこになるか？中国、台湾は動きそうもない。韓国、タイは加入申請するか？

さて 2026 年暮れにこれを採点して何点になるか？